



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
—思いやり・やる気・たくましさ—

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 8 号
令和 元年 6月27日

校外学習を終えて

第1学年主任

6月21日（金）、マザー牧場に校外学習をしに行ってきました。当日は、天候にも恵まれて、時間通りに全ての活動を行うことができました。

学年主任として、1学年の生徒達にしおりの文章を通して以下のことを伝えました。

集団行動で大切なことは、「できることを、できる人が、みんなのために、喜んで行動する」ことです。自分のできることを率先して行い、やってくれたことにまわりは感謝の気持ちをもつ（伝える）ことが大切です。これこそ学年のスローガンである「一致暖結」ではないでしょうか。

バスレクでは、レク係を中心に内容を事前に考え、当日は司会の指示を聞きつつ、クラスみんなで盛り上がることができました。

焼きそば作りでは、食材を洗ったり切ったりする人、火おこしをする人、焼きそばを作る人、食器の準備や片付けを行う人等班員と相談をしながら活動していました。

班別学習では、班ごとに計画したコースを時間を意識しながら行動することができました。

どの場面でも「一致暖結」を意識している生徒の様子が見られ、とても充実した校外学習だったと感じました。しかし校外学習の事後指導の中で、反省点や改善点が生徒達から出たのも事実です。さらに高いレベルの集団にしていきたいために、次の行事で今回の反省点を直し、今以上に暖結していけるように、生徒達と先生達みんなで意識して生活していきましょう。



皆さんは、「個人の目標」を達成することはできたでしょうか。もちろん、「完璧にできた」という人も、「まあまあだったかな」という人もいます。そこで、お願いがあります。

まず、「完璧にできた」という人は、校外学習だけではなく、日常生活に活かしてください。そして、学校生活をもっと有意義なものにしてください。

また、「まあまあだったかな」という人は、その目標を今後の学校生活につなげる形で達成をめざしてください。

今回は、一人一人の協力があったからこそ、校外学習は実りのあるものになったと感じています。これからも一人一人が「一致暖結」して良い学年にしていきましょう!!

(校外学習実行委員長 2組 _____)



修学旅行 その後…

第3学年修学旅行担当

修学旅行が終わって、約1ヶ月が経ちました。旅行中は、実行委員や班長が様々な場面で声かけ・呼びかけをすることができましたが、旅行が終わっても学校生活の様々な場面で、様々なリーダーたちが声かけ・呼びかけをしてくれていることを嬉しく感じています。お互いに「目配り」「気配り」「心配り」をし合っている場面も多く見かけます。何より、時間を意識した行動が、きちんとできています。修学旅行の経験が、活着ているように感じ嬉しく思っています。「修学旅行に言って良かった」改めて、そう感じています。また、国語の学習の一環として、一人一人が思い出の一句を詠みましました。各クラスの教室前に掲示してありますので、三者面談の際等にご覧いただけたら幸いです。

修学旅行で一句



【一組】

晩春の山のさえざり 耳おぼえ
松本城 空に浮かびし 夏の色
橋がゆれ ゆがんで見えた 青と夏
庭園や 緑零れる 松本城
春すぎて 思いをかかえ 親はなれ

【二組】

日盛りの湖光る かがみかな
天守閣 なお力増す 暑さかな
穂高岳 暑さ忘れる 山清水
熱き日や 川のせせらぎ 耳残る
夏始め 友と歩いた 梓川

【三組】

川の中 およぐ白魚 こころよき
真清水と 手からあふれる 幸せき
夏始 暑さ忘れる とんぼ玉
日盛りに 汗をぬぐって 歩く街
上高地 川もかがやく 夏日かな

【四組】

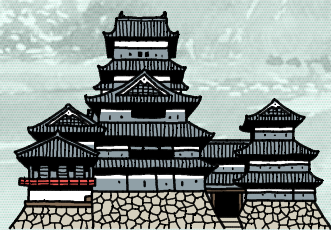
清冽な 水が流れし 山葵かな
夏野道 電車の窓に うつりけり
晴れた日に 諏訪湖にうつる 夏の空
旅おわり 春眠覚めぬ わたしたら
せせらぎと 流れるダイヤ 森涼し

【五組】

夏の山 おもいが残る しろい雪
朧月 諏訪湖の夜に 映りけり
夏風に 我彷徨いし 音の中
山道の 若葉の色に 立ち止まる
夏の川 みなが裸足で 駆け回る

【六組】

寄り道や 制服姿 夏の川
つばめたら 空へ旅立ち 葉がひらり
夏空が みんなの笑顔 写しだす
田舎道 夏の草花 遊んでる
麓かや 風通り道 髪ゆれる



お知らせ

千葉市総合体育大会が近づいてきました。本校の部活動ガイドラインでは、土日の練習はどちらかのみを原則としていますが、3年生最後の大会に向けた練習試合等の時間を確保するため、また、暑さの中での連戦となる大会に向けて体を慣らす必要があると考えたため、6月29日(土)30日(日)、7月6日(土)7日(日)に限っては活動を行ってもよいことに致しました。決して無理することのない練習とし、その分、平日に休養日を確保するようにいたしますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。